

2019年11月6日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

産業技術の B to B 展示会 「HANNOVER MESSE 2020」

2020年4月20日（月）～24日（金）、独・ハノーバーにて開催

最新の産業技術・製品が一堂に会する世界最大のB to B専門展示会「HANNOVER MESSE（ハノーバーメッセ）」が、2020年4月20日（月）～24日（金）に、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催されます（主催：ドイツメッセ株式会社／ドイツ・ハノーバー）。

「HANNOVER MESSE 2020」は「**Industrial Transformation（インダストリアル・トランスフォーメーション）**」をメインテーマに、Industrie 4.0、FA、IIoT、AI（人工知能）、5G、スマートロジスティクスなどの最新トレンドとトピックスすべてに光を当てます。

今回は、**Automation, Motion & Drives**（自動化、駆動技術）、**Digital Ecosystems**（デジタルエコシステム）、**Energy Solutions**（エネルギーソリューション）、**Engineered Parts & Solutions**（高度な技術部品）、**Future Hub**（未来の新技术）、**Logistics**（物流）といった6つの展示部門を取り上げ、産業界の主要トレンドとトピックスをカバーする80余りの会議とフォーラムも開催する予定です。

2020年のパートナーカントリーは、同年までに東南アジア最大のデジタル経済国になることを標榜している**インドネシア**です。

2020年は、70カ国から6,000社を上回る出展企業と、80カ国から20万人を超える来場者が参加する見込みで、出展企業の約60%、来場者の約40%はドイツ国外からの参加です。2019年の実績では、アジアからの出展企業は全体の約28%（1,715社）、アジアからの来場者は全体の約8%（17,300人）に上りました。

日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部では、現在日本企業の出展を募集しています。出展料金は、最小出展面積9㎡あたり2,852.00ユーロ～です。

（問い合わせ先：ドイツメッセ日本代表部 TEL：03-3434-6447）。

【本件に関するお問い合わせ】一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部
担当：竹生（たけお）、小坂（こさか）

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL：03-3434-6447 / FAX：03-3434-8076 / E-Mail：DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、MAIL：jmapr@jma.or.jp、担当：斎藤、川村）へお願いいたします

HANNOVER MESSE 2020

▼メインテーマ : Industrial Transformation (インダストリアル・トランスフォーメーション)

世界の製造業は、デジタル化、個別化、環境保護というメガトレンドを主な要因とする急速な大変革期の真っただ中にあり、同時に、政治・経済における極めて困難な問題にも取り組んでいます。

こうした中、「HANNOVER MESSE 2020」のメインテーマに「**Industrial Transformation (インダストリアル・トランスフォーメーション)**」を掲げました。

現在、製造部門の顧客が直面している要件や問題は、ほんの数年前と比較しても大きく異なっています。その結果として、需要サイドの状況も大きく変わっており、研究開発部門や、生産、ロジスティクス、エネルギー供給技術の提供業者は、そうした変化に適応する必要があります。この変化のプロセスを管理し、積極的に形成することが課題で、**Industrie 4.0**、**Logistics 4.0**、人工知能、**5G**、カーボンニュートラルな生産、軽量化デザイン、電気駆動技術などの分野への投資が必要となっています。

これらの技術を包括的にカバーし、「**Industrial Transformation (インダストリアル・トランスフォーメーション)**」を総合的観点から重視しているHANNOVER MESSEは、機械工学業界の出展企業にとって完璧なプラットフォームです。

「HANNOVER MESSE 2020」には、およそ6,000社が出展する予定です。

主な出展企業は、Arburg、ifm、IBM、IBG、アマゾンウェブサービス、igus、ABB、SEW-オイドライブ、SAP、エンドレスハウザー、川崎重工業、Knapp、シーメンス、シェフラー、シスコ、ジック、シュナイダーエレクトリック、シュンク、Still、ソフトウェア・エー・ジー、デマティック、豊田自動織機、ハーティング、ピーアンドエフ、フエスト、フェニックス・コンタクト、フラウンホーファー、ベッコフ、ボッシュ・レックスロス、マイクロソフト、三菱電機、安川電機、ラップ、リタール、Lenze、ワイドミュラー、ワゴなどです（五十音順）。

▼6つの会場構成による最新の展示プログラム ～「HANNOVER MESSE 2020」の見どころ

① Automation, Motion & Drives（自動化、駆動技術）：Hall 5～9, 11～13

対象は、ファクトリー、プロセスおよびエネルギーの自動化、機械および電気のパワートランスミッションと流体力、ロボティクス、産業センサー技術と画像処理、トランスフォーマー、エネルギーマネジメント、ロジスティクス自動化、ウェアハウジング技術です。

② Digital Ecosystems（デジタルエコシステム）：Hall 14～17

デジタル統合と産業への適用に重点を置き、ビジネスソフトウェア、製品ライフサイクル管理（PLM）、製造実行システム（MES）、ロジスティクスIT、デジタルプラットフォームとクラウドソリューション、ITセキュリティ、拡張現実および仮想現実、エネルギーマネジメントソリューション、人工知能、5Gインフラなどのトピックスを網羅します。

③ Energy Solutions（エネルギーソリューション）：Hall 11～13, 27

産業ビルおよびプラント向けの効率的で気候中立なエネルギー供給と、コネクティッド・モビリティ・インフラを重点的に取り上げます。トピックスは発電および送電、電力、水素電池と燃料電池、熱および冷却供給技術、電気自動車インフラなどです。

④ Engineered Parts & Solutions（高度な技術部品）：Hall 19～20, 22～23

軽量化建築、付加製造（3Dプリンター）、表面技術、特異な素材による部品、締結システム、エンジニアリングサービスなど、未来を規定するテーマの情報センターです。

⑤ Future Hub（未来の新技术）：Hall 21, 24

R&D、スタートアップ企業、新興技術、イノベーションカルチャー、仕事の未来を重点的に取り上げます。未来の産業を見据え、会場の北西4分の1区画にイノベーションのホットスポットを配置しました。ここは、スタートアップ企業が研究機関と出会い、大企業が若き人材や型破りな頭脳と出会う場となります。

⑥ Logistics（物流）：Hall 2～4

物流とウェアハウジング技術、ウェアハウスおよびファクトリー設備、産業車両とアクセサリ、自動搬送台車、パッケージング技術、ロジスティクスサービスを網羅します。

▼スタートアップ企業のグローバルプラットフォーム、学習とネットワーキング

「Industrial Transformation (インダストリアル・トランスフォーメーション)」は、現在の産業界における根本的变化を推進しています。

HANNOVER MESSEはこうしたトレンドや、産業界のその他多くの主要トレンドとトピックスをカバーする80余りの会議とフォーラムを主催しています。

その一例である「Forum Industrie 4.0」は、8,000人を超える参加者を集めています。

HANNOVER MESSEの国外貿易プラットフォームである「Global Business & Markets」は、出展企業220社のホスト役を担っており、来場者は5,000人を超えています。

HANNOVER MESSEにおけるスタートアップ企業のハブである「Young Tech Enterprises」では、産業界の若き企業150社を紹介しています。

「Industrial Pioneers Summit」は、成功裏に終わった2019年の初登場に続き、2020年4月22日にも再び開催され、世界中からおおよそ500人が参加する予定です。

2020年のハイライトは、4月20日～21日に開催される「Global Manufacturing Industrialisation Summit」です。このサミットは、イノベーションおよび第四次産業革命（4IR）技術の導入をグローバル規模で進めることにより、持続可能な産業発展を促進します。

▼「Global Manufacturing and Industrialisation Summit」を開催

「HANNOVER MESSE 2020」の会場では、2020年4月20～21日、アブダビ（アラブ首長国連邦）、エカテリンブルグ（ロシア）に続き3回目となる「Global



Manufacturing and Industrialisation Summit」が開催されます。サミットの焦点は、持続可能な産業発展と第四次産業革命技術のグローバルな導入です。

2019年、ロシアのエカテリンブルグにおいて開催された「Global Manufacturing and Industrialisation Summit 2019」の閉会式では、アラブ首長国連邦（UAE）エネルギー産業相のH.E. Eng.スハイル・ムハンマド・ファラグ・アル・マズルーイー氏と、国連工業開発機関（UNIDO）のリー・ヨン事務局長が声明を発表しました。エカテリンブルグのドイツ総領事ステファン・カイル博士が、ドイツ政府を代表して引き継ぎを承認しました。

UAEとUNIDOの共同イニシアチブである「Global Manufacturing and Industrialisation Summit」は、産業と職務の枠を超えた世界初のプラットフォームです。製造業者、政府、非政府組織、技術者、投資家をひとつに束ね、第四次産業革命の技術を活用して製造業の未来を形にするとともに、国連の持続可能な開発目標（SDGs）に合致した、より繁栄し持続可能な産業界と社会を構築することを目指しています。

今年、アブダビとエカテリンブルグでそれぞれプレミアが行われ、「Global Manufacturing and Industrialisation Summit」には政府や実業界、市民組織のリーダー3,000人余りが集まりました。パートナー企業は、ムバダラ・インベストメント・カンパニー、シーメンズ、ゼネラル・エレクトリック、IBM、ハネウェル、ソルベイ、ロックウェル・オートメーション、PwC、K&L Gates、タワザンです。

GMIS について

Global Manufacturing and Industrialisation Summit (GMIS) は 2015 年に設立され、第四次産業革命 (4IR) 下の製造業の変革を活用してグローバル経済再生を実現させるために、製造業者、政府、NGO、技術者、投資家の架け橋を築くことを目的としています。アラブ首長国連邦と国連工業開発機関 (UNIDO) の共同イニシアチブである GMIS は、グローバルな利益に貢献するチャンスを製造部門に提供し、すべての人に恩恵をもたらすことに尽力するプラットフォームです。GMIS は、業界の枠を超えた世界初のイニシアチブとして、今後製造業が直面する問題にリーダーが関わることのできるプラットフォームを提供し、イノベーションと技能開発をグローバル規模で促進する潜在能力に対して、投資を拡大すべきことを浮き彫りにします。世界のリーダー、産業界の CEO、専門研究者や学界といった主要ステークホルダーをひとつに束ねる GMIS は、製造業を経済改革と政府の意思決定の中核と位置づけ、グローバルな協調と連携の手段として製造業の振興を図っています。

UNIDO について

国連工業開発機関 (UNIDO) は、発展途上国の中小産業の生産能力を高め、その国の貧困解消の支援に専門的に取り組む機関です。UNIDO は、貧困削減、貿易能力の構築、再生可能なエネルギー源の推進に関わる総合的なグローバルリソースと専門知識を利用し、貧困にあえぐ世界の人びとの生活の質の改善に取り組んでいます。

▼パートナーカントリー：インドネシア

「HANNOVER MESSE 2020」のパートナーカントリーは、インドネシアです。

同国は、2020年までに東南アジア最大のデジタル経済国になることを目指し、すでに取り組みを進めています。人工知能、モノのインターネット、企業用ウェアラブル、先進ロボティクス、3Dプリンティングなどに関わる同国の「Making Indonesia 4.0」ロードマップは、Industrie 4.0の技術の導入とジョイントベンチャーの拡大を通じ、インドネシア産業を近代化することに特化しています。



「Making Indonesia 4.0」のイニシアチブは製造業の強化を目的に策定されており、実行の初期段階では食品と飲料、繊維、自動車、化学製品、電子工学といった5つの領域に重点的に取り組みます。このイニシアチブには政府当局や業界団体、民間企業、大学、投資家などのステークホルダーが関与しています。

ドイツとインドネシアは60年にわたり友好的な外交関係を維持しています。2017年におけるドイツとインドネシアの貿易額は、60億米ドルを上回りました。ドイツのインドネシア向けの輸出は主に機械、化学製品、計測および制御技術、電気工学、電子工学、自動車、自動車部品で構成されています。一方、インドネシアからドイツへの主要輸出品目は、繊維、靴、電子工学、食品、素材です。現在、250社余りのドイツ企業がインドネシアで事業を展開しており、フェスト、ロバート・ボッシュ、SAP、TÜV NORD、シーメンス、MAN、ティッセンクルップ、BASF、パイエル、ダイムラー、BMWなどの企業があります。

HANNOVER MESSEでは毎年、「パートナーカントリー」として特定の国に焦点を当てています。パートナーカントリーは展示会の来場者やメディアの注目を集めるだけではなく、政府関係者も来場します。近年では、スウェーデン (2019年)、メキシコ (2018年)、ポーランド (2017年)、米国 (2016年)、インド (2015年) が、HANNOVER MESSEのパートナーカントリーとなりました。

▼ドイツメッセ株式会社について

ドイツで初めての輸出見本市を開催するにあたって、1947年に設立されたドイツメッセ株式会社（Deutsche Messe AG）は、資本財見本市の世界最大の主催者の1つとして、ドイツおよび世界各地の会場で数々の優れたイベントを主催しています。2018年に収益3億1,000万ユーロを計上し、ドイツの5大見本市会社の1つに数えられています。

現在、**didacta**（教育）、**DOMOTEX**（カーペットとその他フロアカバリング）、**HANNOVER MESSE**（産業技術）、**INTERSCHUTZ**（防火、災害救助、安全およびセキュリティ）、**LABVOLUTION**（研究技術）、**LIGNA**（木工、木材加工の工具、設備、機械）など、世界的規模のイベントを実施しています。また、**parts2clean**（産業用部品洗浄）、**SurfaceTechnology**（表面処理）など、ハノーバー以外のドイツを会場とするその他産業見本市も開催しています。

また、ドイツ農業協会（German Agricultural Society、DLG）が企画する**AGRITECHNICA**（農業機械）と**EuroTier**（畜産）、ドイツ工作機械工業協会（German Machine Tool Builders' Association、VDW）が企画する**EMO**（工作機械）、マックブルックス（Mack Brooks）社が企画する**EuroBLECH**（板金加工）、ドイツ自動車工業会（German Association of the Automotive Industry、VDA）が企画する**IAA Commercial Vehicles**（運輸、ロジスティクス、モビリティ）など、国際的に著名な外部団体の数々のイベントを定期的に主催しています。

これらには、オーストラリア、カナダ、中国、インドネシア、イタリア、メキシコ、ロシア、シンガポール、タイ、トルコ、米国で開かれる産業見本市も含まれます。海外で開催されるこうしたイベントでは、自動車、ICTとデジタルビジネス、製造および加工業、エネルギーとロジスティクス、金属加工の部門が対象となります。

ドイツメッセは1,200名余りの従業員と58の販売パートナーからなるネットワークを擁し、世界100カ国以上に代表部を設置しています。

※ドイツメッセ日本代表部について

一般社団法人日本能率協会はドイツメッセ株式会社と提携し、2015年4月に日本代表部を設置。ドイツメッセが主催する専門展示会における日本国内での出展促進・出展者向けサービスの提供、ならびに来場促進活動など代表業務を担っています。

URL：<https://www.jma.or.jp/dms/>

HANNOVER MESSE 2020

(国際産業技術見本市) 開催概要

会 期 : 2020年4月20日 (月) ~24日 (金) 各日9:00~18:00

会 場 : ハノーバー国際見本市会場 (Messegelände, 30521 Hannover, Germany)

主催・運営 : ドイツメッセ株式会社 (Deutsche Messe AG)

所在地 : Messegelände, 30521 Hannover, Germany Tel : +49 511 89-0

E-mail : info@messe.de ホームページ : www.messe.de

パートナーカントリー : インドネシア

展示内容 : Automation, Motion & Drives、Digital Ecosystems、Energy Solutions、Engineered Parts & Solutions、Future Hub、Logistics

メインテーマ : Industrial Transformation (インダストリアル・トランスフォーメーション)

出 展 者 : 70カ国から約6,000社が出展予定

出展料金 : 2,852.00 ユーロ~/9㎡・一面開放

入場料金 (*2019年実績)

: 1日券 (One-day admission) 前売り31ユーロ 当日窓口39ユーロ

通し券 (Full-event admission) 前売り70ユーロ 当日窓口84ユーロ

※日本円での1日券・通し券は、2020年1月10日~4月10日まで、ドイツメッセ日本代表部入場券購入ページ (https://school.jma.or.jp/products/detail.php?product_id=150751) にて販売予定 (請求書決済)

※ユーロでの前売り券の購入は、HANNOVER MESSE公式ホームページまで (<https://www.hannovermesse.de/en/get-tickets/>)

※宿泊の予約は、ハノーバー観光局ホームページ (www.visit-hannover.com) まで

2019年実績

会 期 : 2019年4月1日 (月) ~5日 (金)

会 場 : ハノーバー国際見本市会場

パートナーカントリー : スウェーデン

来 場 者 : 215,000人

ーうち40%がドイツ国外からの来場者

出 展 者 : 約6,500社 (約75カ国・地域)

ーうち60%がドイツ国外からの出展者

ースタートアップの出展 : 140社 ー500点のIndustrie4.0, AI関連製品

ースウェーデンからEricsson、ABB、Tetra Pac、SKF 等のスウェーデンの国際的企業が、多くのスタートアップと共に出展

ー「5G アリーナ」 5G技術を使った製造業向けの8つのショーケースの設置

<日本からの出展者 84 社 (五十音順、法人格略、海外現地法人含む) >

iCAD、i Smart Technologies、愛知時計電機、明石合銅、旭化成、東電化工業、アネスト岩田、アビームコンサルティング、アライドテレシス、アルバック、飯塚製作所、WELCON、Edgecross コンソーシアム、SMC、NC ネットワーク、荏原製作所、オムロン、樫山工業、CACH、川崎重工業、カワソーテクセル、キーエンス、京セラファインセラミックス、京都機械工具、清川メッキ工業、コニカミノルタ、コフロック、サクラテック、ジャスト、ジェイテクト、情報通信研究機構、CC-Link 協会、住友重機械工業、住友電気工業、住友理工、図研、高石工業、たけびし、THK、TDK、テクノ高槻、寺崎電気産業、デント、東亜鍛冶所、東海アヅミテクノ、東芝インフラシステムズ、東西サムテル、東レ・プレシジョン、トヨタ自動車、トレンドマイクロ、ナブテスコ、西村陶業、日本電気、日本電機工業会 (JEMA)、日本電鍍工業、日本特殊管製作所、日本能率協会 (JMA)、能瀬精工、ハーモニック・ドライブ・システム、パトライト、パナソニック、日立ソリューションズ、ファナック、福井電化工業、不二越、富士端子工業、富士通、二葉産業、ブロードリーフ、マックス、ミツ矢、三菱電機、ミツ星ベルト、安川電機、ヤマハ発動機、ユアサ工機、ユケン、UBC、横河電機、横浜ゴム、LUBE、LEWA、ロボット革命イニシアティブ協議会、ワカヤマ

HANNOVER MESSE 2020

プレス要項

プレス向けイベント：

- ・ 会場巡回ツアー（Press Highlight Tour） 2020年4月19日（日）
- ・ 最終プレスカンファレンス 2020年4月24日（金）

現地登録所：

4月19日（日）：プレスセンター（コンベンションセンター内）

4月20日（月）～24日（金）：会場北入口North 1および西入口West 1

※詳細はプレス公式ガイドライン参照 www.hannovermesse.de/en/pressservice

プレスセンター所在地：

コンベンションセンター内

プレスセンター開設時間：

4月20日（月）～23日（木） 8:00～19:00

4月24日（金） 8:00～17:00

※プレスセンターでは、クローク、ロッカー（デポジット10ユーロ）、
ノートパソコン、インターネット、Wi-Fi（無料）を用意

その他サービス： 無料駐車場、無料シャトルバス、ケータリング

一部プレスカンファレンスのライブ配信：

www.hannovermesse.de/de/informationen-fuer/journalisten/presse-mediathek/live-uebertragungen

主催者からの情報提供：

◆ホームページ (<http://www.hannovermesse.de/en/pressservice>) より提供

- ドイツメッセ社発行のプレスリリース
- 出展企業発行のプレスリリース
- 出展企業の広報担当者連絡先
- 写真/ビデオ素材
- メディア向け見どころ一覧

◆プレスセンターで提供

- 開催日別メディア向け見どころ一覧
- ドイツメッセ社発行のプレスリリース
- 出展企業発行のプレスリリース
- 出展企業リスト

◆ラジオ&TVセンター（ホール17に隣接）

- テレビ・ラジオ向けの放送素材

※上記は予定ですので、プレス要項の最終版は、プレス公式ガイドラインでご確認ください。

プレス公式ガイドラインURL：www.hannovermesse.de/en/pressservice

以上